

# 隅 藏 康 一 准教授

---

専門分野：知的財産政策、科学技術政策

学 位：博士（工学）（東京大学）

略 歴：1993年東京大学理学部卒、95年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、95年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、98年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、99年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授（現在に至る）。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 雑誌論文 (単著)

\* 隅藏康一「遺伝子・診療情報のシェアリング促進に向けて」、『医療と法ネットワーク 会報』Vol.14 (2012年2月24日) 1-3頁。

### (2) 図 書 (編・共著等)

\* 毛利勝彦編著『生物多様性をめぐる国際関係』（大学教育出版、2011年）：隅藏康一「生物多様性と遺伝資源—アクセスと利益配分をめぐって—」（pp.137-151）を執筆。

\* 岡崎康司・隅藏康一編著『理系なら知っておきたい ラボノートの書き方【改訂版】』（羊土社、2012年）

### (3) 学会発表

\* 隅藏康一・齋藤裕美「基礎研究の産業界における活用：個人向けアンケートの試行から」、日本機械学会 2011年度年次大会、東京工業大学、2011年9月12日。

\* 齋藤裕美・隅藏康一「アカデミック・リサーチと発明者の関係に関する特許分析～製薬・バイオベンチャーを対象に」、日本機械学会 2011年度年次大会、東京工業大学、2011年9月12日。

\* 齋藤裕美・隅藏康一「アカデミック・リサーチへの評価と発明者の研究対象等との関係～製薬・バイオベンチャーに着目して」、日本知財学会第9回年次学術研究発表会、専修大学、2011年6月26日。

\* 隅藏康一・西村由希子「産学連携を担う知的財産人材の調査・分析」『日本知財学会第9回年次学術研究発表会、専修大学、2011年6月25日。』

## 2. 業 績 (B)

### (1) 書評・解説等

\* 隅藏康一「知的財産権」（「機械工学年鑑」の23・4）、『日本機械学会誌』114巻、642頁（2011年）

\* 隅藏康一「知的所有権の管理」、日本機械学会『機械実用便覧 改訂第7版』（丸善、2011年）pp.380-385。

### (2) 翻訳・監訳等

\* 科学・技術・倫理百科事典翻訳編集委員会監訳『科学・技術・倫理百科事典』（丸善、2011年）：「知的財産」（pp.1455-1458）の翻訳を担当。

(3) その他

- \* 隅藏康一・齋藤裕美「基礎研究の産業界における活用：個人向けアンケートの試行から」『日本機械学会 2011 年度年次大会講演論文集』、CD-ROM 中 5 頁 (2011 年)
- \* 隅藏康一「生命の法工学」『日本機械学会 2011 年度年次大会講演論文集』、CD-ROM 中 5 頁 (2011 年)
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「アカデミック・リサーチと発明者の関係に関する特許分析～製薬・バイオベンチャーを対象に」『日本機械学会 2011 年度年次大会講演論文集』、CD-ROM 中 5 頁 (2011 年)
- \* 隅藏康一・西村由希子「産学連携を担う知的財産人材の調査・分析」『日本知財学会 第 9 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2011 年)。
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「アカデミック・リサーチへの評価と発明者の研究対象等との関係～製薬・バイオベンチャーに着目して」、『日本知財学会 第 9 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2011 年)
- \* 井田聡子・永田晃也・隅藏康一「医薬品産業における企業協会の変化がイノベーションに及ぼす影響に関する分析」、NISTEP DISCUSSION PAPER No.75 (2011 年)
- \* シンセシオロジー編集委員会「研究・技術計画学会 構成学ワークショップ シンセオロジー (構成学) : 知の統合からイノベーションへ」、Synthesiology Vol. 5 No.1 pp.62-68 (2012 年 2 月刊行) : 2011 年 10 月 16 日の研究・技術計画学会におけるワークショップを収録。

**3. 助成金による研究**

- \* 財団法人大川情報通信基金、学術研究機関における基礎研究の情報通信産業への貢献度の測定 (研究代表者)
- \* 財団法人日本生産性本部 生産性研究助成、大学における基礎研究の社会還元メカニズムの研究：新規医薬品創出に着目して (研究代表者)

**4. 教育**

(1) 講義

- \* 科学技術政策リサーチセミナー I・II : 担当教員の中の一人である。
- \* 「技術革新と社会変貌」 (オープンセミナー) のコーディネーション、講義の一部を担当

(2) 論文指導

- \* 3 名 (博士課程・科学技術政策プログラム、主指導)

(3) その他

- \* 客員研究員 3 名の受け入れ

**5. 管理・運営への関与**

- \* ライフサイエンス政策研究プロジェクト メンバー
- \* 科学技術・学術政策博士課程プログラム メンバー
- \* 図書館運営調査会 委員
- \* 政策研究大学院大学・財団法人日本規格協会・一般財団法人バイオインダストリー協

会主催 公開シンポジウム「幹細胞技術の標準化：再生医療への期待」（2012年2月25日）の企画・モデレーター・実施責任者。

## 6. 社会的貢献（A）

### （1）他大学・研究所等における活動

#### ① 非常勤講師

- \* 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻、知財学特論 A「バイオ特許実践特論」（前・後期に各2単位）を担当
- \* 大阪工業大学大学院 知的財産研究科「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題」ならびに「現代科学と知的財産」の講義を実施
- \* 早稲田大学理工学部・大学院理工学術院 「知的所有権特論」（1単位）を担当
- \* 早稲田大学「企業ビジネスと国際標準化」（日本規格協会提携講座）の一部として、「バイオ分野～iPS細胞・知的財産権・標準化～」の講義を実施。
- \* 東京工業大学 工学部、「総合科目 A 科学者とは」の一部として、「知的財産権をめぐる問題」の講義を実施

#### ② その他

- \* 東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員（渡部研究室）
- \* 広島大学 高等教育研究開発センター 客員研究員

### （2）財団法人等における活動

#### ① 役員，委員会

- \* 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
- \* 財団法人東京都医学研究機構、評議員
- \* 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、石油天然ガス技術検討委員会、委員
- \* DIPEX-Japan、情報倫理委員会、委員
- \* 公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 運営委員会、委員
- \* （財）比較法研究センター 医療と法ネットワーク 賛同者・会員

#### ② その他

- \* 文部科学省 科学技術政策研究所・科学技術動向調査センター、専門調査員
- \* 知的財産国家戦略フォーラム、メンバー
- \* 特定非営利活動法人 21世紀構想研究会、メンバー（産業技術・知的財産委員会、委員）

### （3）学会等における活動

- \* 研究・技術計画学会、事務局担当理事；第26回シンポジウム実行委員
- \* 日本知財学会、理事；ライフサイエンス分科会担当理事；知財学ゼミナール担当理事
- \* 日本機械学会、法工学専門会議 運営委員会 運営委員ならびに幹事；法工学専門会議 知的財産法工学研究会 主査；産業・化学機械と安全部門 代議員
- \* 日本機械学会、東日本大震災調査・提言分科会 WG7（地震、原発事故等に対する危機管理） 委員
- \* PICMET 2014 (Kanazawa) Local Arrangement Committee, Member

### （4）審議会等における活動

- \* 衆議院経済産業調査室、客員調査員

- \* 文部科学省 個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト（第2期） ELSI 委員会、委員
- \* 文部科学省 知的クラスター創成事業 さっぽろバイオクラスター “Bio-S” 平成21年度 外部評価委員会 委員
- \* 裁判所 専門委員（東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属）

## 7. 社会的貢献（B）

### （1） ジャーナリズムでの発言

#### 活字メディア

- \* 2011年4月15日 生産性新聞1面 「平成22年度生産性研究助成 若手研究者3件に授与」にて紹介
- \* 2011年7月12日 毎日新聞朝刊1面（14版）「京大 iPS 欧州で特許」にてコメント
- \* 2011年7月12日 毎日新聞朝刊25面（14新版）「京大 欧州で iPS 特許」にてコメント
- \* 2011年7月12日 中日新聞朝刊31面「iPS 欧州で特許成立」にてコメント
- \* 2011年7月21日 朝日新聞朝刊30面「広い権利 京大粘り勝ち iPS 技術 欧州で特許」にてコメント
- \* 2011年7月30日 中日新聞夕刊1面「iPS 特許 攻める京大」にてコメント
- \* 2011年8月16日 神奈川新聞19面「理系の仕事 紹介 KSPで26日 学生に企業技術者ら」にて紹介
- \* 2011年8月17日 日刊工業新聞「切り開け新たな学術分野」にてコメント
- \* 2011年8月24日 asahi.com “Kyoto University obtains iPS cell patent in Europe”にてコメント
- \* 2011年9月18日 読売新聞朝刊15面「iPS細胞2011（4）特許競争 勝ち抜く体制必要」にてコメント
- \* 2011年12月15日 日経バイオテク ONLINE「山中伸弥京大所長が分生若手教育シンポで講演」にて紹介

### （2） 講演会，座談会，会議出席

- \* 座長：知財・技術情報の戦略的活用セッション、日本知財学会第9回年次学術研究発表会、2011年6月25日。
- \* 講演・パネリスト：日本知財学会第9回年次学術研究発表会・ライフサイエンス分科会セッション「ライフ・イノベーション時代に対応した大学知財のあり方」、「企業の発明者へのアンケートから～大学の基礎研究がどの程度活用されているか～」、2011年6月26日。
- \* モデレーターならびにまとめ講演：神奈川科学技術アカデミー 教育講座「新産業分野人材育成事業」スタートアップイベント「新産業分野の研究者・技術者をめざす大学生・大学院生諸君への期待」、2011年8月26日。
- \* 講演：日本機械学会2011年度年次大会 ワークショップ「法工学の課題と展望」、「生命の法工学」、2011年9月12日。
- \* 講演：JST-PO 研修、「生命科学の基礎研究はどのように活用されているか～発明者

アンケート調査から～」、科学技術振興機構、2011年9月16日。

- \* 講演：研究・技術計画学会 構成学ワークショップ「シンセシオロジー（構成学）：知の統合からイノベーションへ」、「Synthesiology から想起されること～知的財産に関連して～」、山口大学、2011年10月16日。
- \* モデレーター：GRIPS ライフサイエンス政策プロジェクト主催シンポジウム「Dialogue for Global Innovation～基礎研究の経済的・社会的インパクトに関する検討～」、2011年12月1日。
- \* 講演：日本分子生物学会 若手ランチョンセミナー「研究者として独立するには?」、「研究モラルとラボルール」、2011年12月14日。
- \* 会議参加：The Hinxton Group, Data and Materials Sharing and Intellectual Property in Pluripotent Stem Cell Science in Japan and China, Kobe (Riken CDB), 2012年1月30-31日。
- \* 講演：東京大学医科学研究所 第9回白金キャリア・プラットフォーム ミニシンポジウム『日本のバイオ・ベンチャーと産官学連携 ～ライフイノベーションの現状と展望～』GCOE 特別セミナー〈キャリアパス支援セミナー〉、「日本のバイオベンチャーの特質とパテント戦略」、2012年2月21日。
- \* 講演：政策研究大学院大学・財団法人日本規格協会・一般財団法人バイオインダストリー協会主催 公開シンポジウム「幹細胞技術の標準化：再生医療への期待」、「知財戦略：標準化における知財マネジメントの事例」、2012年2月25日。
- \* 総合オーガナイザーとして主宰（西村由希子氏とともに）：知的財産マネジメント研究会 (Smips)、2011年4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、9月17日（「第11回知的財産・産学連携ワークショップ」として開催）、10月8日、11月12日、12月10日、2012年1月14日、2月18日、3月10日。